

|                       |
|-----------------------|
| 日本経営学会第73回大会予告…………… 1 |
| 日本経営学会第74回大会情報…………… 2 |
| 日本学術会議第18期会員          |
| 候補者の推薦について…………… 2     |

|                      |
|----------------------|
| 経営学会国際連合…………… 2      |
| 学会協賛・協力のお知らせ…………… 3  |
| 「日本経営学会誌」投稿規定…………… 4 |

## 日本経営学会第73回大会予告 1999.9.7~10 於：同志社大学

日本経営学会第73回大会は、統一論題「新しい世紀と企業経営の変革—企業経営の変革をめざして」のもと、本年9月7日(火)～10日(金)、同志社大学(今出川キャンパス)で開催されます。各部会からの推薦をもとにプログラム委員会でご依頼した結果、とりあえず、統一論題報告者が下記の通り決まりました。予定討論者(各サブテーマ2名)等は現在お願している過程にあります。ワークショップについては、現在2名の方から申し出があります。同志社大学では大会委員会が発足し、精力的に準備が進められています。(人名敬称略・順不同)

### \*統一論題

#### サブテーマ1

「グローバル・スタンダードと企業経営の変革」

(報告者) 中原秀登・寺本義也・井上昭一

#### サブテーマ2

「規制をめぐる諸問題と企業経営の変革」

(報告者) 坂野友昭・玉村博巳・中野裕治

### サブテーマ3

「経営者の役割と企業経営の変革」

(報告者) 石井 耕・佐久間信夫・対木隆英

### \*ワークショップ

「経営学の教科書を考える」(企画者) 斎藤 毅憲

「地域とベンチャー企業」(仮題)

(企画者) 角田隆太郎

(第73回大会プログラム委員長 大橋昭一)

### 〔大会委員長から一言〕

ここしばらくの間、企業経営にまつわる不祥事が続いています。ゼネコン汚職から、証券会社の損失補填問題、総会屋問題、不良債権問題、その他多くの問題が企業経営と関連して発生し、経営者の経営責任が問われているし、日本の企業経営のあり方が問われています。このような社会情勢の中で、本年度の大会の統一論題は、プログラム委員会とも相談の上、「新しい世紀と企業経営の変革」と致しました。日本の企業経営そのものが現在問われているし、他方では、新しい世紀を目前にして、企業経営はその「速度」と「広さ」の点でも、根本的に変革されねばならないし、我々経営学を研究する研究者として、この問題に答える社会的責任があると考えました。それは同時に、日本の経営の何が伝統として温存せねばならないか、何が変革されねばならないかの問題であります。具体的には、この統一論題に三本の柱を立てました。第一には、「グローバル・スタンダードと企業経営の変革」であり、世界的な視野から企業経営の変革を見てみようと言うことであり、さらに、現在問題となっている規制問題と絡んでの今後の企業経営として、「規制をめぐる諸問題と企業経営の変革」であり、第三には、多くの経営者の不祥事を目前にして経営者の役割を新しい基準で考えてみたいという希望からの「経営者の役割と企業経営の変革」であります。

今年は京都にある同志社大学で大会が行われますが、元々京都という土地は、伝統と革新がうまく結びあっている土地であり、そこには一千年を越える伝統産業と新しいベンチャー企業が共存し発展している土地であります。その意味では、このような統一論題にふさわしいこのような土地で、日本の企業経営の変革を論ずるということは、まさに企業経営の伝統と革新を論ずることであります。大会が十分な成果をあげられるように、私たち同志社大学の実行委員一同は全力をあげて大きな成果が上がるように準備をしたいと思っておりますので、会員の諸先生のご協力をお願いいたします。

(大会委員長 島 弘)

## 日本経営学会第74回大会情報

日本経営学会第74回大会は2000年9月に横浜市立大学で開催されます。この大会に向けたプログラム委員会も発足し、第1回会合が1999年1月30日に開催されました。それに先だって実施された理事の方々へのアンケートの結果を踏まえ、統一論題とそのサブテーマについて意見交換が行われました。

第74回大会は20世紀最後の年に開催されます。統一論題は、それにふさわしく経営学100年の歴史を回顧・展望し、新世紀の課題を論究するという方向で考えることになりました。

サブテーマは3本を予定しています。具体的なテーマは検討中ですが、一つの柱は経営学(理論・学説)100年の回顧と展望を予定したいと考えています。その他の柱

も、20世紀の経営学と企業経営を総括し、21世紀の経営学と企業経営の課題を展望するという方向で検討しています。ワークショップも従来通り2～3本予定することになりました。

統一論題・自由論題の報告・質疑時間のあり方なども早急に具体化しますが、基本的には質疑・討論に時間がとれるように検討を進めたいと考えています。

新世紀に向けた20世紀最後の大会にふさわしい大会が実現できるように、当番校とも十分に相談し、さらに検討を進めて行きたいと思います。ご意見がございましたら、委員長はじめ委員までお願いします。

(第74回大会プログラム委員会委員長 百田 義治)

## 日本学術会議18期会員候補者の推薦について

日本学術会議第18期会員の選出が次のような日程で行われることになりました。

会員候補者届出締切：平成12年2月15日

推薦人届出締切：平成12年2月21日

推薦人会議：平成12年5月中旬～6月上旬

日本経営学会では、1990年10月5日に開催された会員総会において、本会の推薦する学術会議次期会員候補者の決定については「総会に先立って届けを出した候補者の中から総会において選出する」ことが決定されており

ます。この決定に従って、本年9月8日に開催される予定の会員総会において学術会議会員候補者の選出が行われることとなります。

日本学術会議第18期会員候補者として本会から推薦を受けることを希望する会員は、平成11年7月末までに、所定の申請書に本会会員10名の推薦書を添えて、学会事務所へ提出して下さい。

申請に必要な用紙類は学会事務所に用意してありますので、事務所へ請求して下さい。

・ ・ ・ ・ ・

日本学術会議17期会員前川恭一氏(同志社大学)の死去にともない、  
1998年5月28日付けにて菊池敏夫氏(日本大学)が就任されております。

## 経営学会国際連合(IFSAM)

1. 役員は、第4回スペイン、アルカラ大会の時に以下のように決まりました。

President : Andre Petit (Canada)

Past President : Santiago Garcia Echevarria (Spain)

President-Elect : Carolyn Dexter (U.S.A)

Secretary : David Lamond (Australia)

Treasure : Yvon Pesqueux (France)

2. アルカラ大会について

マドリッドから電車で30分のアルカラ市にあるアルカラ大学で、『グローバリゼーション』というテーマの下に1998

年7月13日－16日に開催された。約300人が世界中から集まり、我国からは19人が参加し、そのうち約半数は報告者となった。17日にはエル・コルテ・イングレス（百貨店）を訪問し、情報システムを見学した。

なお2002年の第6回大会は、オーストラリアのブリスベンとゴールド・コーストにキャンパスのあるグリフィス大学が候補地の一つに上げられている。

### 3. 次期第5回カナダ大会について

東京（第1回）ダラス（第2回）パリ（第3回）アルカラ（第4回）で2年毎に開催してきたIFSAM大会は、第5回大会が2000年7月6日－9日にモントリオールで開催されます。報告を希望する方は、本年末までに論文が審査されますので御準備ください。詳細は大会本部から情報を得次第、お知らせいたします。

### 4. 北京地域大会について（大会案内を同封致しました）

本年7月18日－21日に開催されます。メインテーマは『情報システム、グローバリゼーションの挑戦：経営学における新たな1000年と革命』であり、セッションは、14ほど設定されております。

発表を希望する方は、論文、およびアブストラクトの提出期日が4月10日と迫っておりますので、早速準備が必要です。詳しくは、野口祐ナショナル・プログラム委員までお問い合わせください。

住所 〒194-0001 東京都町田市つくし野1-14-3 野口 祐

（前Secretary & 前Treasure 黒川 保美）

## 日本労務学会設立30周年記念国際シンポジウムの協賛依頼と アメリカ経営学会・西部部会・静岡大会の協力依頼について

1. 日本労務学会設立30周年記念国際シンポジウムの協賛依頼があり、「協賛」を受諾しております。（ただし経済的支援はいたしていません。）

会期 2000年7月20日（木）～7月23日（日） 4日間

会場 神戸国際会議場（神戸市中央区港島中町6-9-1）

問い合わせ先 日本労務学会国際シンポジウム実行委員会 奥林康司

神戸大学経営学部気付

〒654-8500 神戸市灘区六甲台町2-1 TEL 078-803-0333 FAX 078-881-8100

Email: okusankj@rose.rokkodai.kobe-u.ac.jp

2. アメリカ経営学会・西部部会・静岡大会の協力の依頼について「協力」を受諾しております。

The Sixth International Western Academy of Management Conference in Shizuoka

Themes: "The Past Decade Revisited: Implications for the 21st Century"

会期 2000年7月9日（日）～7月12日（水） 4日間

会場 グランシップ静岡県コンベンションアーツセンター 〒422-8005 静岡県池田 79-4（東海道線・東静岡新駅前）

問い合わせ先 財団法人 静岡コンベンションビューロー TEL 054-254-2212 FAX 054-250-2871

### 〔訂正とお詫〕

前回（1998年9月）の学会ニュースにて役員のお名前に誤りがありましたので、ここに訂正し、お詫び致します。

国際会議委員（東日本）

小山昭雄→小山明宏  
誤 正

国際会議委員（西日本）

上田 慧→上田 慧  
誤 正

機関誌編集委員（西委員）

桑原哲夫→桑原哲也  
誤 正

## 「日本経営学会誌」投 稿 規 定

- 1) 投稿者は原則として日本経営学会の会員とする。
- 2) 投稿原稿は日本経営学会の目的に則したテーマで日本語あるいは英語で書かれた未公開論文とする。
- 3) 原稿は原則としてワープロによる横書きとする。掲載決定後に最終原稿のプロッペーの提出が求められる。  
本文・注・図表・文献リストを含め、日本語の場合は20,000字以内（A4で40行×40字×12.5枚）、英語の場合は6,000語以内（A4でダブル・スペース）とする。
- 4) 図表は本文での挿入箇所を明示して原稿の終わりに入れる。図表は下記の要領で原稿字数に換算し、原則として合計で1ページ以内とする。
  - ・刷り上がり2分の1ページ大の図表：19行×44字＝836字
  - ・刷り上がり4分の1ページ大の図表：10行×44字×440字  
（タイトル1行と注記1行を含む）
- 5) 文献引用については、本文では（著者名と出版年）で表示し、原稿の終わりに文献目録をアルファベット順に表示するものとする。
- 6) 投稿原稿の表紙に投稿者の氏名、住所、所属機関、肩書きを記入し、原稿自体には氏名など一切記入してはならない。
- 7) 投稿原稿には、キーワード5項目、原稿のコピー2部、論文要旨3部（日本文の場合：約1,600字、英文の場合約600語）を付けて提出する。
- 8) 投稿の締切は特に設けない。投稿された原稿、投稿時点以降最初に開かれる編集委員会で処理される。
- 9) 投稿原稿の採否は、編集委員会が委託する2名のレフリーの審査に基づき、編集委員会が決定する。
- 10) 投稿者は投稿原稿の不採用が決定される前に当該原稿を他の場所で公開してはならない。
- 11) 採用原稿の執筆者校正は初稿のみとし、校正時の原稿訂正は原則として認めない。
- 12) 原稿料は支払わない。ただし、30部の抜き刷りを無料で送付する。
- 13) 投稿原稿などは一切返却しない。
- 14) 投稿先は編集委員長とし、宛先は「学会ニュース」で知らせる。
- 15) 本紙に掲載された論文を執筆者が他の出版物に転用する場合には、予め文書によって編集委員会の手承を得なければならない。

投稿先 編集委員長 坂本 清

〒558－8585

大阪府大阪市住吉区杉本3－3－138

大阪市立大学商学部 坂本清研究室

### 「日本経営学会誌」第5号原稿募集について

「日本経営学会誌」第4号につきましては、本年5月刊行を目指して編集作業を進めておりますが、現在次号（第5号）の原稿を募集いたしております。多数の応募を期待いたしております。締め切りは5月末日（刊行予定 本年11月）となっておりますが、出来るだけ早めに投稿をお願いいたします。

（日本経営学会機関誌編集委員会）